

安全・安心を実感できる「いばらき」の確立について

<提案・要望先> 警察庁，総務省，財務省，国土交通省

<提案・要望内容>

本県の治安情勢は，刑法犯認知件数が平成 15 年以降 14 年連続で減少するなど，数値の面では治安の回復傾向が継続しておりますが，侵入窃盗，自動車盗，ニセ電話詐欺等の県民に身近な犯罪が高い水準で発生しており，依然として県民の治安に対する不安を払拭できていない状況にあります。また，交通情勢についても，人身交通事故発生件数こそ平成 13 年以降 16 年連続で減少しているものの，交通事故後 24 時間死者数が依然として全国ワースト上位にあるほか，飲酒運転による交通死亡事故件数及び死者数が，平成 28 年中は群を抜いて全国最多となるなど，安全かつ快適な交通環境に向けた課題は山積しております。

さらに，児童虐待を含む人身安全関連事案，東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う国際情勢の変化等への的確に対応するためには，体制強化が急務であります。

このような厳しい治安情勢の中，本県警察では，全国に比して高い警察官 1 人当たりの業務負担の改善，犯罪率が共に全国ワーストである住宅侵入窃盗及び自動車盗への対策，サイバー空間における脅威への対応，外国人による犯罪等への対策等が喫緊の課題となっているほか，高齢者の交通事故防止及び通学児童等の安全確保のための交通環境の整備，東日本大震災及び平成 27 年関東・東北豪雨を踏まえた大規模災害対策等にも対処しなければなりません。

以上のことから，県民が安全・安心を実感できる「いばらき」を確立するため，下記事項について特段の御配慮を願います。

記

- 1 警察基盤を強化するため，警察官の増員（地方警務官の増員を含む。）や警察車両の増強を図ること。
- 2 犯罪の高度化・複雑化に的確に対応するため，自動車ナンバー自動読取装置の増設並びに DNA 型鑑定機材及び画像鑑定機材の増強を図ること。
- 3 安全かつ快適な道路交通環境を整備するため，特定交通安全施設等整備事業の充実に努めること。
- 4 大規模災害対策を強化するため，科学技術を活用した資機材を含む災害対策用資機材の増強を図ること。
- 5 サイバーセキュリティ対策を強化するため，サイバー空間の脅威に的確に対処することができる人材の育成や資機材の整備を図ること。